

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

|      |   |     |           |     |       |
|------|---|-----|-----------|-----|-------|
| 学校番号 | 9 | 学校名 | 仙台市立通町小学校 | 校長名 | 後藤 信博 |
|------|---|-----|-----------|-----|-------|

## 1 取り組みタイトル・テーマ

「みんなで力を合わせよう！ 食べ物を大切に 環境を考えた学校！」



## 2 取り組み紹介

### 1. フードロス削減「給食オリンピック」

9月から1月までの5か月間、各クラスで「ご飯・パン」「おかず」「汁物」「牛乳」「すべて完食」の5項目から毎月1つの目標を選び、「一口は食べる」「残さず食べる」など、クラスの実態に合わせた具体的な目標を設定して残食を減らすことを目指しました。目標達成時には、児童一人ひとりが個人でシールを貼り、達成感を味わえるような工夫を行いました。また、給食委員会が毎月昼の放送で各クラスの取り組み状況を全校に伝えることで、他のクラスの頑張りを知り、互いに刺激し合いながら、意欲的に活動することができました。



### 2. 環境に関する児童の意識を高める活動

#### ①ゴミの分別

毎日掃除の時間に、環境委員会の児童がゴミ捨て場に順番に立ち、ゴミの分別が正しく行われているか見守りをしました。この活動は、技師の方から「ゴミの分別が正しくされていないことがよくある。」と聞いたことがきっかけで始まりました。環境委員会の児童は、ゴミ捨て場に集められるゴミが正しく捨てられているかを確認し、間違っていれば正しい分別方法を他の児童に教えたり、一緒に分別し直したりしました。見守り活動を通して、ゴミの分別に関する意識が学校全体で高まり、分別間違いを減らすことにつながりました。



#### ②学校花壇の管理

地域の方々と環境委員会の児童が力を合わせ、花壇の手入れを行いました。単に花壇をきれいにするだけでなく、地域住民同士の交流を深め、子どもたちの環境に対する意識を高めることを目的として行いました。最初は土いじりが初めてという児童もいましたが、地域の方々に教えていただきながら、少しずつ作業に慣れていき、最後は汗だくになりながら楽しそうに活動していました。この活動を通して、植物を大切にしていこうという意識をもつことができました。

### 3. 取り組みの成果

フードロス削減やゴミの分別、緑化活動を通して、児童は自分が行っている小さな行動が、地球全体の環境改善に大きく貢献できることを考えられるようになってきています。また、自分たちだけではできないことも、地域の方々と協力して取り組むことで、みんなで過ごしやすい町づくり・学校づくりができることを学びました。